

渡島管内観光入込客数調査

渡島総合振興局 産業振興部 商工労働観光課

「観光入込客数調査」について

道における観光入込客数調査は、「観光入込客統計に関する共通基準」（平成21年12月、観光庁）を踏まえ、平成22年2月に制定した「北海道観光入込客数調査要領」（平成9年1月制定に準ずる）に基づき実施しています。

【注記】

① 各市町村の数字について

入込客数：各市町村内で、1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地点を訪れても1人と算出します。

宿泊客：各市町村内で、1人の観光客が1回の旅行で一つの宿泊施設に2泊以上滞在しても1人と算出します。

宿泊客延数：各市町村内で、1人の観光客が1つの宿泊施設に複数泊すると泊数分が計算されます。

② 管内総数の数字について

各市町村の数字の単純合計です。管内市町村間の重複は調整されていません。

例）1人の観光客が1度の旅行で2市町村を訪れ、それぞれで観光地点を訪れた場合、管内総数の入込客数では、2人と計算されます。

③ 上期の実績について

同調査の上期実績を平成28年12月に公表しておりますが、公表後に上期の数字に修正があった場合は、今調査で修正しています。

1. 概況

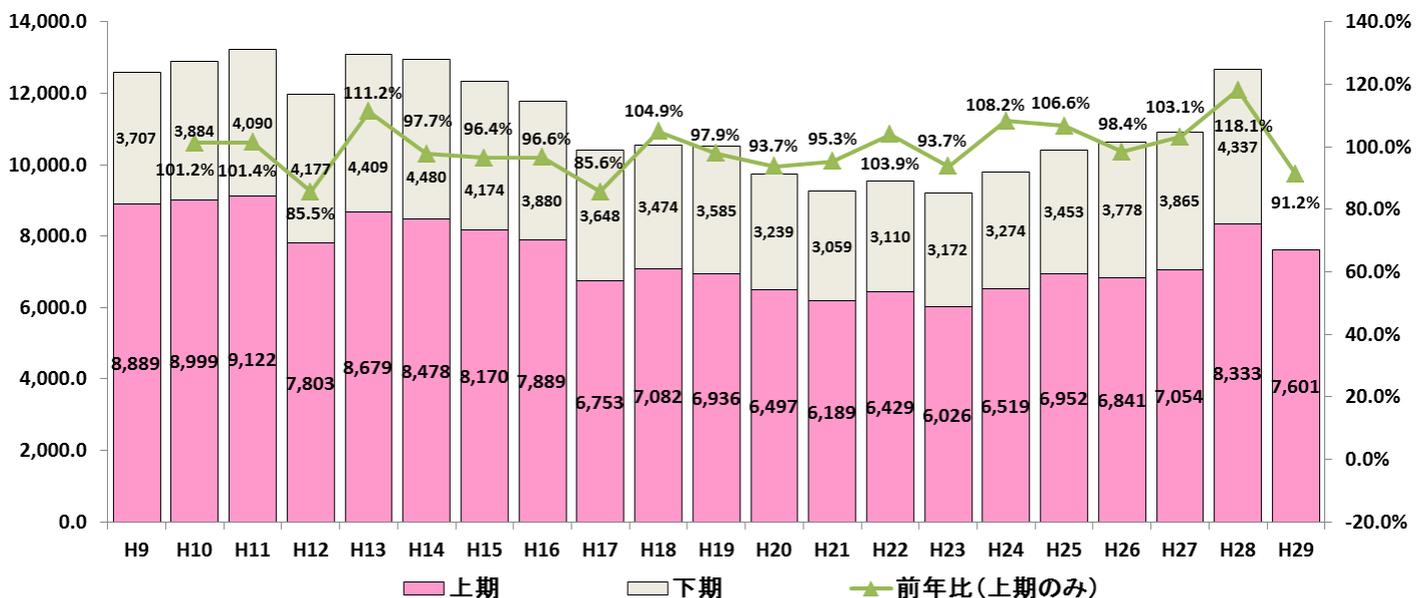
平成29年度上期（4月～9月）の渡島管内観光入込客数の総数は、約760万人で、前年から約73万2千人の減少、前年比91.2%となり、上期として平成26年以来の減少となりましたが、平成27年度上期の渡島管内観光入込客数の総数（約705万4千人）と比較すると、約54万7千人の増加、一昨年比107.8%となりました。

減少の主な要因としては、平成28年3月26日の北海道新幹線開業から1年以上が経過して集客効果が薄れてきていることや、昨年夏に実施した大型観光キャンペーンの反動、夏場の天候不順等が挙げられます。

（単位：千人）

	平成28年度上期	平成29年度上期	前年差	前年比
入込客総数	8,333.2	7,600.9	▲ 732.3	91.2%

【入込客総数の推移】



2. 「道内客・道外客」別、「日帰客・宿泊客」別の状況

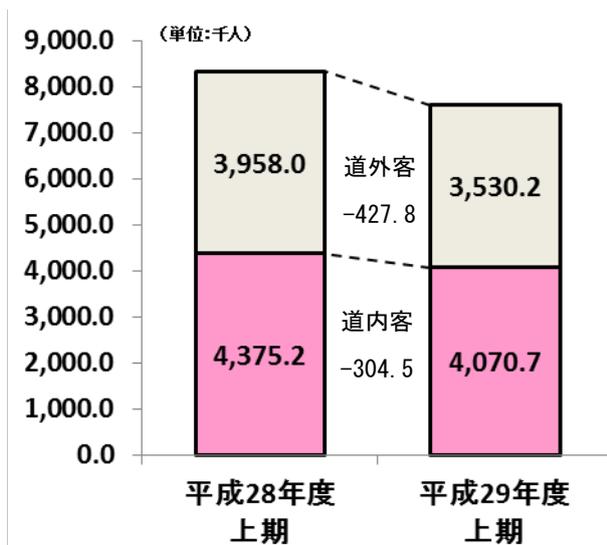
道内・道外観光客別では、道内客は約30万5千人（対前年比93%）、道外客は約4万2千8千人（同89.2%）の減少となりました。

日帰・宿泊客別では、日帰客が約7万4千2千人（対前年比87.3%）と減少した一方で、宿泊客は約1万人（同100.4%）の増加となりました。宿泊客増加の要因としては、平成29年3月に新函館北斗駅前にホテル・ラ・ジェント・プラザ函館北斗がオープンしたこと等が挙げられます。

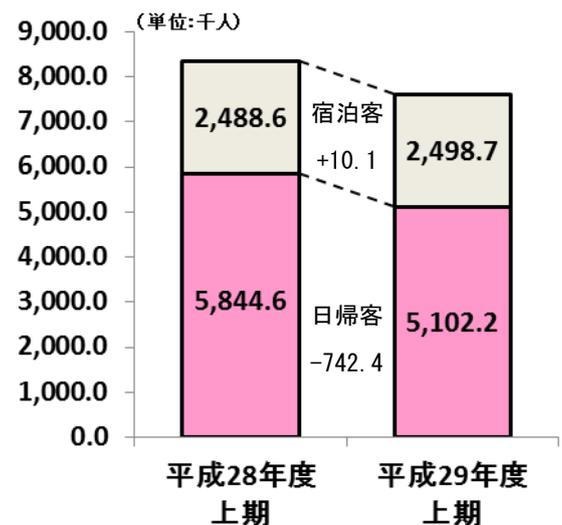
（単位：千人）

			平成28年度 上期	平成29年度 上期	前年差	前年比
道内：道外	実数	道内客	4,375.2	4,070.7	▲ 304.5	93.0%
		道外客	3,958.0	3,530.2	▲ 427.8	89.2%
		合計	8,333.2	7,600.9	▲ 732.3	91.2%
	構成比	道内客	52.5%	53.6%	+1.1%	-
		道外客	47.5%	46.4%	▲ 1.1%	-
		合計	100.0%	100.0%	+0.0%	-
日帰：宿泊	実数	日帰客	5,844.6	5,102.2	▲ 742.4	87.3%
		宿泊客	2,488.6	2,498.7	+10.1	100.4%
		合計	8,333.2	7,600.9	▲ 732.3	91.2%
	構成比	日帰客	70.1%	67.1%	▲ 3.0%	-
		宿泊客	29.9%	32.9%	+3.0%	-
		合計	100.0%	100.0%	+0.0%	-
宿泊客延数（千人泊）			2,986.9	2,995.1	+8	100.3%

【道内客：道外客の増減】



【日帰客：宿泊客の増減】

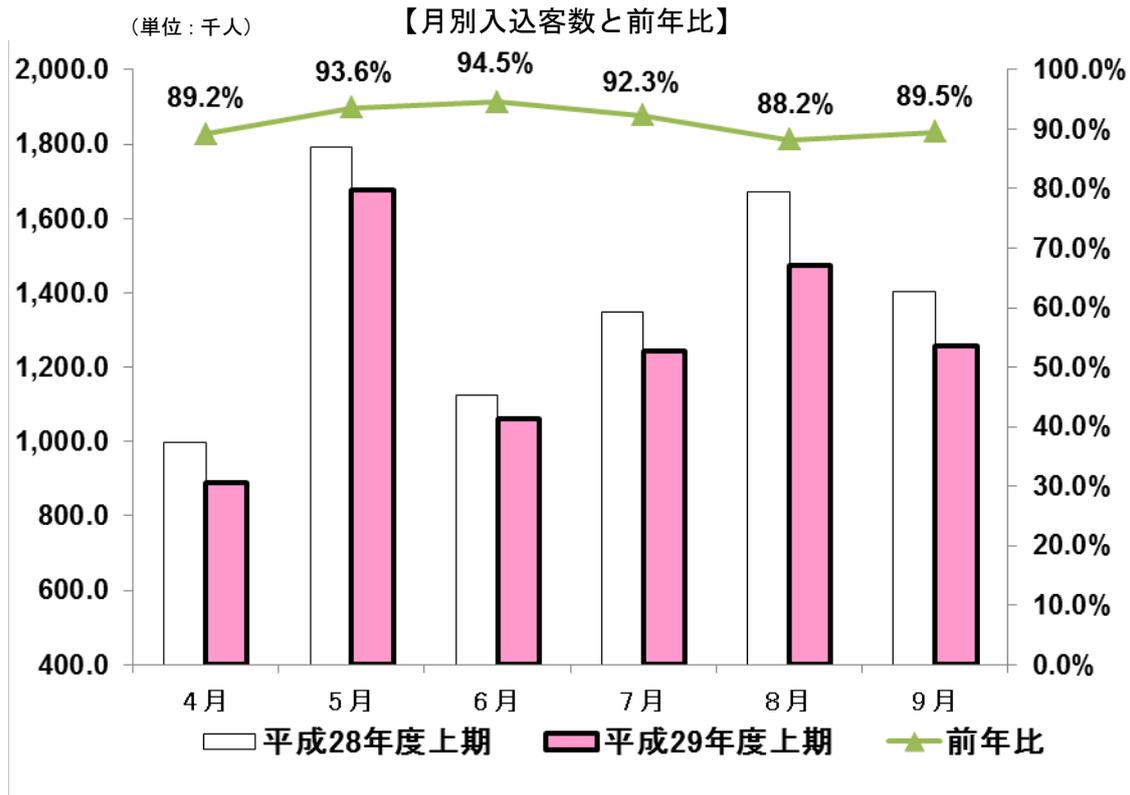


3. 月別・四半期別の入込客数推移

4～9月のすべての月で減少となりました。

(単位：千人)

月	平成28年度上期	平成29年度上期	前年差	前年比
4月	997.8	890.2	▲ 107.6	89.2%
5月	1,791.0	1,675.8	▲ 115.2	93.6%
6月	1,122.9	1,061.2	▲ 61.7	94.5%
7月	1,346.6	1,243.2	▲ 103.4	92.3%
8月	1,671.4	1,475.0	▲ 196.4	88.2%
9月	1,403.5	1,255.5	▲ 148.0	89.5%
上期計	8,333.2	7,600.9	▲ 732.3	91.2%



4. 市町別入込状況

(単位：千人)

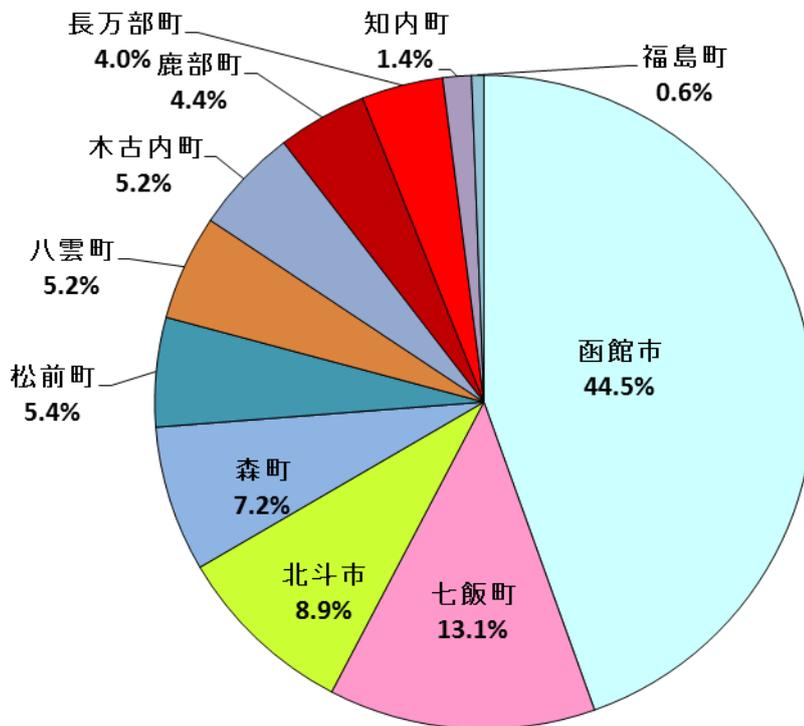
(単位：千人)

	平成28年度上期	平成29年度上期	前年差	前年比	平成27年度上期	一昨年比
函館市	3,664.7	3,382.3	▲ 282.4	92.3%	3,210.6	105.3%
七飯町	1,125.5	997.9	▲ 127.6	88.7%	1,084.5	92.0%
北斗市	919.3	674.7	▲ 244.6	73.4%	766.6	88.0%
森町	546.7	547.9	1.2	100.2%	572.6	95.7%
松前町	388.5	407.3	18.8	104.8%	351.3	115.9%
八雲町	431.2	397.4	▲ 33.8	92.2%	407.2	97.6%
木古内町	423.6	397.1	▲ 26.5	93.7%	46.8	848.5%
鹿部町	346.6	338.1	▲ 8.5	97.5%	144.5	234.0%
長万部町	314.8	300.6	▲ 14.2	95.5%	311.0	96.7%
知内町	115.3	108.5	▲ 6.8	94.1%	106.0	102.4%
福島町	57.0	49.1	▲ 7.9	86.1%	52.9	92.8%
管内計	8,333.2	7,600.9	▲ 732.3	91.2%	7,054.0	107.8%

5. 管内市町構成比

	平成28年度 上期	平成29年度 上期	前年差
函館市	44.0%	44.5%	+0.5%
七飯町	13.5%	13.1%	▲0.4%
北斗市	11.0%	8.9%	▲2.2%
森町	6.6%	7.2%	+0.6%
松前町	4.7%	5.4%	+0.7%
八雲町	5.2%	5.2%	+0.1%
木古内町	5.1%	5.2%	+0.1%
鹿部町	4.2%	4.4%	+0.3%
長万部町	3.8%	4.0%	+0.2%
知内町	1.4%	1.4%	+0.0%
福島町	0.7%	0.6%	▲0.0%
管内計	100.0%	100.0%	+0.0%

【市町構成比】



平成29年度上期 渡島管内各市町観光客入込状況

(単位:千人)

	入込総数		内訳								主な増減要因
	H29	前年比	(道外客)		(道内客)		(日帰客)		(宿泊客)		
			H29	前年比	H29	前年比	H29	前年比	H29	前年比	
函館市	3,382.3	92.3%	2,176.9	89.4%	1,205.4	98.1%	1,125.9	80.2%	2,256.4	99.8%	航空機では、新たに就航した国内線LCCによる成田国際空港と関西国際空港とのアクセス効果などにより103.3%となったほか、船舶は、一般旅客利用が急増したフェリーやクルーズ船の乗客増などにより、113.1%と大幅な伸びとなったが、他の交通機関では昨年度を下回り、全体としては減少となった。
北斗市	674.7	73.4%	123.2	72.6%	551.5	73.6%	625.9	69.5%	48.8	262.4%	北海道新幹線開業から1年が経過し、集客効果が薄れてきている影響か、入込客数については大きく減少となった。また、昨年度と比較すると、特に夏場(7~8月)にかけて悪天候の日が多く、海水浴場やきじひき高原近辺等の入込客数は大きく減少した。
松前町	407.3	104.8%	87.4	107.0%	319.9	104.3%	375.2	106.5%	32.1	88.7%	さくらまつり期間中である4月、5月の天候の安定とイベントの影響により観光客が増加した。6月以降の入込みは平年並み。
福島町	49.1	86.1%	4.9	83.1%	44.2	86.5%	47.5	86.1%	1.6	88.9%	昨年度は前九重親方の死去により、横綱記念館に献花及び記帳に訪れ入館者が大幅に増加したが、今年度は例年どおりの入館者数となった。また、新幹線効果が薄れたこともあり町全体としては減少となった。
知内町	108.5	94.1%	39.7	90.4%	68.8	96.4%	99.3	94.1%	9.2	93.9%	昨年度は北海道新幹線の開業効果により観光入込客数が増加したが、今年度は開業効果も落ち着いてきたこともあり、全体的に減少傾向となった。特に、こもれび温泉の利用者数の減少と、サマーカーニバルin知内の来場者数が大幅減少したことが要因と考えられる。
木古内町	397.1	93.7%	77.7	92.8%	319.4	94.0%	393.1	93.7%	4.0	97.6%	北海道新幹線開業及び道の駅オープンも2年目に入り、入込客数も落ち着いてきている。
七飯町	997.9	88.7%	704.6	89.2%	293.3	87.3%	938.4	89.0%	59.5	84.0%	入込総数は減少しており、道外、日帰り、宿泊においてもその傾向が見受けられる。理由として、中国国際空港の撤退によるインバウンドの減少や、新幹線開業から2年目を迎え、開業効果が低下してきていることが関係していると考えられる。国内宿泊客が特に少なく、新規コンテンツの周知が出来ていないことや、リピーターの減少から周辺地域において滞在する観光客の減少が起こっていると考えられる。
鹿部町	338.1	97.5%	15.3	113.3%	322.8	96.9%	320.4	97.6%	17.7	96.7%	昨年度は道の駅しかべ間歇泉公園の開業効果により、大幅に観光入込客数が増加したが、今年度は開業効果も落ち着いたため、昨年度に比べ減少している。また、昨年度が新幹線開業の年であったことや、今年度は道内の旅行先のトレンドが道東方面に流れた事も減少傾向の要因として考えられる。
森町	547.9	100.2%	89.9	93.7%	458.0	101.6%	504.7	100.4%	43.2	98.6%	前年度とほぼ同様の入込であったが、GWを過ぎてからの天気が悪かったため桜まつりで集客できず、道内客の入込が若干減となった。
八雲町	397.4	92.2%	115.3	86.8%	282.1	94.5%	381.7	91.4%	15.7	114.6%	郷土資料館の来場者数が今年も増加しており、要因として木彫り熊や徳川家にまつわる情報のメディア露出があげられる。宿泊温泉施設では宿泊数は増加したものの日帰り客数が減少したこと、また、昨年まで増加傾向だった噴火湾パノラマパークの観光入込客数の減少が著しかったため、八雲町全体として入込客数が減少した。
長万部町	300.6	95.5%	95.3	90.8%	205.3	97.9%	290.1	95.2%	10.5	102.9%	温泉旅館宿泊者数は増加したが、立ち寄り客数が減少となり、全体としても減少となった。